

氏名	尾 瀬 裕
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1563 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和60年 6 月30日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学 位 論 文 題 目	学校給食調理員の健康障害に関する衛生学的研究 第 1 編 調理方式の差が健康障害発症に及ぼす影響 第 2 編 健康障害発症に関与する諸要因の疫学的検討
論 文 審 査 委 員	教授 緒方正名 教授 田辺剛造 教授 長島秀夫

学位論文内容の要旨

学校給食調理員の運動器系健康障害に関する研究は行われておらず，本研究では，発症要因の把握および作業との因果関係を明らかにすることを目的として，疫学的調査および検診を実施した。

結果は以下の如く要約し得る。

- 1) 発症要因として，作業量・作業密度に関する要因を指摘し，作業量と健康障害との量・反応関係を認めた。
- 2) 加齢要因の影響は明らかではなかったが，経験年数と健康障害との間に量・反応関係が認められ，作業関連要因が健康障害発症に先行する時間的關係も認められた。
- 3) 調理設備の改善により，健康障害の発症を減少させる一方，安易な機械化は発症要因になり得ることを認めた。
- 4) 検診により，作業態様と，健康障害との関連性に特異性が認められた。

以上の結果から，調理員の健康障害が作業起因性のものであることを推定し得た。

論文審査の結果の要旨

学校給食調理員の運動器系健康障害に関する，発症要因の把握，作業との因果関係を検討した。そして，発症要因と作業量と健康障害との間に量・反応関係を認めた。又，調理設備の改善により，健康障害の発症は減少するが安易な機械化は発症要因になり得ることを認め，作業態様と健康障害との関連性を認めた。